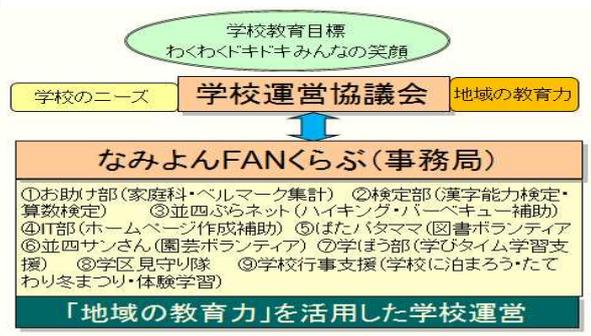


こんな活動です

地域の教育力を生かした「なみよんFANくらぶ」による学校教育の創造

神奈川県横浜市		●活動名 並木第四小学校地域学校協働活動				●関係する学校名 横浜市立並木第四小学校	
協働活動開始年度	平成 25 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	14 学級	のべ児童・生徒数	336 人
活動区分	学校支援活動		—		—		
	—		放課後子供教室		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—		—		5人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	
	平成30年4月1日設置		—	90人	—	—	
参考URL	https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/namiki4/						
●連絡先	横浜市立並木第四小学校			☎ 045-701-3506			

●体制図



●活動の概要・経緯

平成25年から地域学校協働本部である「なみよんFANくらぶ」の地域学校協働活動がスタートし、在校生の保護者だけでなく、卒業生の保護者や近隣の地域団体とも連携が図られるようになった。「出来る時に出来ることを」を合言葉に、学校の教育的なニーズに対し、保護者・地域の方々が、得意な分野や興味あることを生かした活動が展開されている。

授業中や放課後の学習補助や植栽・ICT等の環境整備、登下校の見守りなど、主に8つのグループから構成されており、それぞれの活動について、「なみよんFANくらぶ」通信を発行し、保護者だけでなく、自治会・町内会にも積極的に情報発信を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

<8つのグループ活動>

○「お助け部」家庭科学習(調理、裁縫)の補助、給食白衣の修繕、ベルマーク集計等 ○「検定部」漢字・算数検定の会場準備、補助 ○「並四ぶらネット(おやじの会)」運動会等の行事の補助、ハイキングやバーベキュー等の企画・開催 ○「IT部」学校ホームページ作成の補助、校内PC整備の補助 ○「ばたパタママ」読書タイムでの読み聞かせや図書室の装飾・本の修繕 ○「並四サンさん」花壇の整備、草取り、水やり、運動会では、正門・西門の花壇を装飾 ○「学ぼう部」放課後学習支援(キッズクラブの時間に勉強を見守り) ○「学区見守り隊」児童の登下校時の見守り

学校は、全校児童が「なみよんFANくらぶ」や地域団体の方々に感謝の気持ちを伝える場として、年度初めに応援団紹介集会、年度末に応援団感謝集会を設けている。

【実施に当たっての工夫】

活動を希望する方が、柔軟に参加・活動できるよう入会の方法や会員の情報共有の仕組みが簡潔になっている。会員となる方は、エントリーシートに記入して登録する。登録と同時に、「なみよんFANくらぶ」事務局を通じて学校教育ボランティア保険への加入手続きも行なわれる。運営からの連絡は主にスマホアプリを利用し、「〇月〇日に家庭科の見守りが必要です」といった支援要請や、当日の活動報告がリアルタイムで届く方法となっている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 在校生の保護者だけでなく、卒業生の保護者や近隣の地域団体とも連携を図っているため、学校・家庭・地域で、子どもたちを育てていこうとする姿がみられる。
- 地域交流室の受付管理を「なみよんFANくらぶ」事務局が担うことにより、地域団体の利用が増え、無料で部屋を借りることができるようになった。
- 地域の方が気軽に学校に入って来られるようになり、「自分の子が並木第四小学校出身なので懐かしい」という声も聞かれる。つづきクラブ・富岡飛行倶楽部・柴漁港の漁師などが、昔遊び体験や餅つきをサポートするなど、地域団体との連携も推進されている。

● その他

○地域のNPO法人野口英世よこはま顕彰会の方々による出前授業、横浜市立大学の医学生による出前授業、ロバの会による認知症講座、並木男声合唱団による芸術鑑賞会、地域の方による戦争講話など地域の方々との連携がますます充実してきた。



「なみよんFANくらぶ」の活動の様子。応援団感謝集会や地域の方々への感謝の気持ちを伝える場として、年度初めに応援団紹介集会、年度末に応援団感謝集会を設けている。



「なみよんFANくらぶ」の活動の様子。地域の方々が学校に来てくれて下さっていることに感謝の気持ちを伝える場として、年度初めに応援団紹介集会、年度末に応援団感謝集会を設けている。